

第4学年 音楽 評価規準表

観点		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元等				
4 月	1.音楽で心の輪を広げよう	<p>①曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>②曲想とリズムや拍との関わりについて気付いき、友達とリズムを合わせて手拍子で打つ技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③歌詞の発音や呼吸の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②リズムや拍、音の重なりと曲想との関わりについて考え、リズムのつなげ方や重ね方を工夫し、どのようにグループの手拍子の音楽を演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって</p>	<p>①曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心をもち、友達と声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②友達と協働して、リズムのつなげ方や重ね方を工夫して音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p>
5	2.歌声のひびきを感じ取ろう	<p>①曲想と音色、旋律、音階や調などの関わりについて気付いき、長調の歌謡を見たり聴いたりして、曲想との関わりについて気付いたりする</p>	<p>①二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり</p>	<p>①曲想と音色、旋律、音階や調などの関わり</p>

月		<p>りについて気付き、ハ長調の楽譜を見て歌う技能、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②曲想やその変化と、二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方との関わりについて気付いている。</p> <p>③音色、旋律、フレーズ、音の重なりなどと曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>⑤歌詞の内容や旋律、フレーズと曲想との関</p>	<p>かど曲想との関わりについて気付いたことを生かしながら曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き取り、重なり合う響きのよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように声や音を合わせるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>について気付き、ハ長調の楽譜を見て呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②曲想と二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方の面白さに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③歌詞の内容と旋律、フレーズとの関わりが生まれ出すよさを感じ取りながら、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>
6	3.いろいろなリズムを感じ取ろう	①曲想と8分の6拍子の特徴との関わりにつ	①8分の6拍子の特徴、旋律やフレーズ、強弱	①曲想と8分の6拍子の特徴との関わりにつ

月		<p>いて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②曲想とリズムや拍、呼びかけとこたえなどの関わりについて気付いている。</p> <p>③互いの手拍子のリズムや鍵盤ハーモニカの旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④曲想やその変化と、打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて気付いている。</p> <p>⑤言葉のリズムのつなげ方や重ね方のよさや面白さに気付き、反復、呼びかけとこたえ、変化を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>の変化と曲想との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②リズム、拍、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③曲想と打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて考え、リズムの特徴や面白さ、打楽器の音色を生かした表現を工夫し、どのように打楽器を演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>④言葉のリズム、反復、呼びかけとこたえや変化が生み出すよさや面白さを生かし、リズムのつなげ方や重ね方を工夫して、どのようにまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるか</p>	<p>く興味・関心をもち、拍ののって声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②拍ののり、友達と気持ちを合わせながら手拍子のリズムを演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ラテン打楽器のリズムの特徴に興味・関心をもち、拍ののって声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④言葉のリズムやその組合せに興味・関心をもち、友達とリズムアンサンブルをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>
7月	4.ちいきにつたわる音楽に親しもう	①歌声や楽器の音色、旋律などによる日本の民謡の特徴と曲想との関わりについて気付いている。	①音色や旋律の特徴などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、日本の民謡を味わって聴いている。	①音色や旋律の特徴などによる演奏のよさなどを見だしながら聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②民謡の特徴やよさを味わって聴いたり、地域に伝わる音楽を調べたりして、地域に伝わる郷土の音楽への関心を高める学習に進んで取り組もうとしている。
9	5.せんりつのとくちょうを感じ取る	①曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて気付いている。	①曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、日本の民謡を味わって聴いている。	①曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、手

<p>月 う</p>		<p>の特徴との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方に気を付けて演奏する技能や、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>②曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>④曲想と旋律の特徴や速度との関わりについて気付いている。</p>	<p>特徴との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②旋律の特徴や速度、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>③曲想と旋律の呼びかけとこたえ、強弱の変化などとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>特徴との関わりについて興味・関心をもち、里なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考えながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③曲想やその変化と、旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④曲想と旋律の音の上がり下がりの特徴、強弱の変化などとの関わりについて考えながら、強</p>
<p>10月</p>	<p>6.せんりつの重なりを感じ取ろう</p>	<p>①曲想と旋律の特徴との関わりについて気付いている。</p> <p>②曲想やその変化と、旋律の特徴や反復、重なりなどによる音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>③曲想と音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>④音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑤曲想と旋律の重なり方や歌詞の内容との関わりについて気付き、互いの歌声を聴いて、</p>	<p>①旋律の重なりや反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさや面白さを見だしながら曲全体を味わって聴いたりしている。</p> <p>②曲想と音色や旋律、音の重なりなどとの関わりについて考え、旋律の特徴や重なりを捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。</p> <p>③旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係が生み出すよさや面白さ、美しさを生かして、旋律の重なり方や歌詞の内容を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①旋律の特徴や重なり、反復の働きが生み出すよさや面白さを見だして歌ったり聴いたりする活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②旋律の特徴や重なりに興味・関心を深め、友達と協働して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>

<p>11 ・ 12 月</p>	<p>7.いろいろな音のひびきを感じ取る う</p>	<p>①打楽器の音色や組合せの特徴、構成の仕方が生み出す面白さに気付き、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の縦と横との関係など音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>②曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>③音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④木管楽器の音色や響きと曲想との関わりに</p>	<p>①音色、強弱、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、いろいろな音の組合せを即興的に表現し、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②楽器の音色の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりについて気付いたことを生かして、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いてい</p>	<p>①打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴を生かし、即興的に音で表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②楽器の音色を生かして演奏したり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いたりして、音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③木管楽器の音色や響きに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>
<p>1 月</p>	<p>8.日本の音楽でつながろう</p>	<p>①曲想やその変化と、箏の音色や旋律との関わりや、箏の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>②箏の演奏の仕方を知り、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③旋律のつなげ方の特徴が生み出す全体の構成のよさや面白さに気付き、反復や変化を用いて日本の音階を生かした旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。</p>	<p>①日本の楽器の音色の特徴や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②音色や響きに気を付けて、箏をどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③旋律の反復や変化によって生まれる音楽のよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまと</p>	<p>①日本の楽器の音色の特徴を聴き取り、そのよさを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②箏の音色や響きに興味・関心をもち、演奏の仕方を知り、音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③日本の音階に興味・関心をもち、音の動きを考えて旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>
<p>2 ・ 3</p>	<p>9.曲の気分を感じ取ろう</p>	<p>①曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>②思いや意図に合った表現をするために必要</p>	<p>①曲想と旋律の特徴、強弱や歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①歌詞の内容と旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、曲想にふさわしい歌い方を工夫する学習に進んで取り組もうとしている。</p>

月

な、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。

③ 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けてリコーダーや鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。

④ 曲想と旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりや、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。

⑤ 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。

⑥ 曲想やその変化と、速度や強弱などによる

② 合奏についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

③ 速度や強弱、旋律の反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

② 友達と協働して、互いの音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。

③ 曲想やその変化と、音楽の構造との関わりについて興味・関心を深め、友達と協働しながら曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。